



乗って残そう

# 中山線バス運行開始



新しい中山線バス(9人乗り)

1月1日現在の中山	
世帯数	1,357
人口	3,459
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	

館報でも複数回取り上げてきた中山線バスが運行を開始しました。住民アンケートや7回にわたる検討委員会、パブリックコメントで案をまとめ、11月15日に運営協議会で承認、その後4回の運営協議会役員会で詳細について協議し、廃線となったバス路線の代替となる地域主体のバス路線が形となりました。

新しいバス路線は、1日5便の通勤・通学便と1日4〜5便の通院・買物便があり、9人乗りのジャンボタクシーが使用目的に応じた路線と時刻表で運行します。通勤・通学便は今までのバス路線と同じルートを走ります。通院・買物便は各町会からの要望を考慮し埴原東公民館や尾池公民館、上和泉構造改善センターといった新しい停留所を設け、月・水・金曜日にそれぞれ異なる経路を走ること

基本利用料は一般200円、小学生100円、福祉100円バス利用者は100円となっており、地域づくりセンター及び町会長宅で回数券を販売しています。運行初日となった1月10日の通学・通勤便の始発時間に合わせ、古屋敷のバス停前で出発式が行われました。町会役員の方々を中心に多くの人が集まり、町会連合会長等のテープカットの後に5人の乗客を乗せて松本駅前へと出発しました。



始発便に乗車した江成博さんは「今までのバスより座席が広く乗り心地が良い。出入り口も広いので高齢者には特にありがたい」と語っていました。

この先バスを存続していくためには、1便当たりの乗車人員が3人以上であることが条件となります。地域の足となるバス路線を守っていくためにも、住民全体で新しいバス路線を利用しましょう。

中山東花園「親子農業体験教室」収穫祭を開催

中山の若手農業者グループが運営する「NNGP中山東花園(NNGP・中山東花園から農村(中山)を元気にするプロジェクト)」は、昨年12月11日に中山公民館で28年度「親子農業体験教室」の最終イベントとなる収穫祭を開催しました。

農業体験教室」は、5月から11月まで野菜やそばづくりなどの農業体験とブルーベリー摘み、カレー会、焼き芋会などのイベントを毎月2回開催。参加者も当初の10家族から28年度は30家族100名を超える程になっています。収穫祭では、餅つきとそば打ちを体験。初めての経験という参加者も多く、親子で協力しながら、餅とそばをつくり、ファイナレは全員で楽しく食べ、一年の活動を締めくくりました。参加した子供たちからは「ブルーベリー摘みや焼き芋が楽しかった」「馬に乗せてもらって良かった」などの感想が聞かれ、父母のみならず「親子で土に触れる体験ができた」「これからも続けたい」「参加者



親子で仲良くそば打ち体験



旬の具材を使って石窯で本格的ピザ焼き体験

同士の交流もしたい」などの声も聞かれました。

「中山東花園」では、昨年中山地区地域づくり協議会地域活性化部会と連携して埴原南公民館南の農場内にピザ窯を手作りし、農業体験教室の日に合わせて「石窯ピザ焼き体験」を実施。更に、50名程が使用できる「あずまや」も手作りして建て、ピザ焼きなどを通じた住民交流や地域づくりの場として、地区の町会をはじめ諸団体にも有効に活用してもらえたらと思っています。

また、多くの人が石窯ピザ焼き技術を習得できるようにピザ焼きマイスターの養成も計画しています。

利用希望などの問い合わせは、代表の荻谷信さんへ  
(Tel 090-3349-8874)

### 中山の魅力発信 「史跡ウォーキング」

中山地区地域づくり協議会  
地域活性化部会主催で「な  
かやま史跡ウォーキング



2016」が12月3日(土)  
に開催されました。このイベ  
ントは、「中山の素晴らしさ  
を地区外の方にも知ってもら  
おう」をコンセプトに昨年度  
から開催されており、今回は



中山東花園での昼食の様子

総勢44名のうち、31名が中山  
地区外から参加されました。  
古墳や史跡などを巡り、「繩  
文の里中山」に思いを馳せな  
がら約9キロのコースを5時  
間かけて歩き、昼食は千石に  
ある中山東花園にて、石窯で  
焼いたピザを食べました。壮  
大な景色を眺めながら食べる  
焼きたてのピザは参加者から  
大好評で、「次回もぜひ来た  
い」との声が多数寄せられま  
した。

当日は雲一つない青空で、  
風もなく、絶好のウォーキン  
グ日和、北アルプスのパノラ  
マもはつきりと見え、中山の  
素晴らしさが十二分に伝わっ  
たのではないのでしょうか。

### 中山小で 伝統のしめ縄作り

12月21日(水) 全校児童  
(116人)で恒例のしめ縄  
作りを行いました。

今年で35回目を迎える伝統  
の催しで、ここまで続いてい  
るのは市内で中山小だけとの  
ことです。

また、今回からの新しい試  
みとして、12月14日(水)に  
6年生対象に事前講習会が行  
われ、その中の有志9人には、  
地元の年配の講師の方々と共

に3年生と4年生を指導し  
てもらうことになりました。  
年々、講師の方々の数が少な  
くなるため、上級生に下級生  
の指導役を担ってもらい、今  
後もこの伝統行事を絶やさず  
続けていきたいとの思いによ  
るものです。

今回、初めて参加する先生  
方もおられ最初は縄がうまく  
作れず試行錯誤しながらも講  
師の指導でしめ縄を作り上げ  
ました。

上級生が下級生を指導する  
という試みが根づいて伝統行



6年生が下級生に優しく指導

事がこれからも続いていくこ  
とでしょう。

### 中山っ子見守りたい 「ありがとうの会」

12月22日(木)、中山小学  
校の5年生が「中山っ子見守  
りたい」の皆さんを学校に招  
いて交流会を行いました。

これはこども達と地域の  
方々との交流活動、地域学習  
の一環で毎年開催されていま  
す。

今年も、生徒が自分達で育  
てたお米でお餅をつくり、い  
つもお世話になっている皆さ  
んをもてなしました。

その後、「一緒にエキサイ  
ト出来る安全な遊び」をテー  
マに、班ごとに自分たちで考  
えてきたクイズ、劇、ゲーム  
等を行い楽しいひとときを過  
ごしました。

「こども達の発想が新鮮で  
すばらしい」「大人と一緒に  
なって楽しめる出し物に毎年  
楽しみに来ています」など、  
出席された「中山っ子見守り  
たい」の方々は話され、交流  
会場では笑顔があふれていま  
した。

最後に、生徒からの「いつ  
もありがとうございます。そ  
してこれからもよろしくお願  
いします」という言葉で会は

お開きとなりました。  
今後交流は続くので機会  
があれば是非ご参加を。



チーム対抗!新聞紙の棒でボールを転がせ!



昨年、年末の健康診断でメ  
タボリックシンドロームの状  
態と判定された。この状態を  
放置すると、将来、心臓病や  
脳卒中などの病気を招く危険  
性があり、すぐにでも生活習  
慣の改善が必要だということ  
だ。やはり年齢を重ねるとい  
ろいろ問題が出てくる。何と  
言っても健康が一番。健康は  
自分で守る。

今年のお正月は、お餅の量  
を減らし、七草がゆを食べて  
いた。(H・A)